最終総合評価に伴うモニタリングチェックシート (平成28年度)

|貫井福祉園・貫井福祉工房 施設名 指定管理者名 社会福祉法人 東京都知的障害者育成会 評価者 指定管理者選定委員会

<評価>

優: 特記すべき実績・成果が認められるもの

良: 管理運営が良好と認められるもの

要改善:一部において改善を要する点が見受け

		られるもの
評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
評価項目および評価の視点 1 効率的運営・効率化への取り組み ・事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか ・計画的な予算執行であるか ・管理業務費の経理、収納した金銭の取扱いおよび実費負担金等については、適正な処理および管理を行っているか ・利用者の利用状況は安定しているか 2 施設管理運営体制 ・業務の再委託における範囲は適正か ・物品購入および再委託の際に、区内業者の活用に努めているか ・職員配置は協定を遵守しているか ・職員について区内雇用の促進を図っているか ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか ・家急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか ・練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか	良良	・基本協定や事業計画に基づ〈事業 運営がなされている。 ・計画的な予算執行、会計処理の帳 簿整理等が行われている。 ・利用者の利用状況は安定してい る。 ・業務の再委託における範囲は適正である。 ・物品購入等における範囲は適正である。 ・物品購入等における区内業者の活用に 努めている。 ・職員配置は、協定を遵守し、適正な運 営体制を整えている。 ・設備の保守点検、備品の管理は適切に 行われている。 ・緊急時のマニュアルを整備し、必要な訓 練等を実施している。 ・用紙使用量の削減に努める等、環境マ ネジメントシステムの趣旨を踏まえた業
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み ・現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを行っているか ・苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか ・地域との連携を図って事業を実施しているか ・計画的に職員研修を行うなど、職員の育成につとめているか	優	務を行っている。 ・利用者の意思決定に着目し、自治会の意見を事業に反映する等、個々の達成感を得られるよう、支援方法を工夫している。・地域との交流、実習生やボランティアの積極的な受け入れにより、利用者の社会経験が広がるとともに、障害者に対する理解の啓発につながっている。・職員相互に良い点を伝え合う「ニヤリハット」の新たな取組や、豊富な法人内研修により、職員の育成やコミュニケーションの活性化に努めている。
4 法令遵守等	良	・労務環境調査については、「労働基準・協定書関係」、「健康保険・厚生年金、労働保険料・労働者災害補償保険・雇用保険関連」の指導・助言に基づき、適切に対応している。・情報セキュリティポリシーおよび個人情報保護に関する規程を整備し、研修や職員会議を通じて周知徹底に努めている。・情報公開規程を整備し、必要な措置を講じている。
5 利用者評価等 ・ 利用者アンケートや第三者評価の結果は良好か ・ 練馬区立貫井福祉園・貫井福祉工房・貫井活動交流室運営協議	良	・利用者アンケートの評価は良好である(福祉工房の就職支援に90%が満足)。運営協議会からの評価も良好である

総合評価

会からの評価は良好か

・項目全般について区が求める水準を満たしている。

・就職後もきめ細やかなアフターケアを行うことにより、積極的に利用者の職場定着に努め、実績を 上げている。

好である。

良

- ・職員が個々に研修計画を立て主体的に参加することで、職員の能力や意識が向上し、質の高い サービスの提供につながっている。
- ・家族との情報共有や意見交換を活発に行い、希望や意見を施設の運営に反映している点が、運 営協議会において高く評価されている。